

「奈良県脱炭素・水素社会推進協議会」について

1. 設立趣旨

- ・地球温暖化を防止し、本県の豊かな自然・歴史文化遺産と美しい景観を未来の子供たちに継承しつつ、社会経済活動を持続的に発展できるように、2050年の脱炭素社会の構築を目指して、施策をより加速させるため、「奈良県脱炭素戦略」を令和7年3月に策定した。
- ・本戦略を実効あるものとするためには、県だけでなく、団体、企業、国、市町村など、様々な主体の連携・協力が必要。そのため、脱炭素施策を推進する母体として、産学官等で構成する「**脱炭素・水素社会推進協議会(会長:奈良県知事)**」を設立する。

2. 活動内容

(1)情報の共有・発信

- ・「奈良県脱炭素戦略」の施策・進捗、及び団体・企業の実践活動の情報を共有・発信する。

(2)実践の促進

- ・戦略(施策)や目標、達成状況等のエビデンスを提示し、「2050年温室効果ガス排出量実質ゼロ」に向けて必要な取組や推進方策等を議論・共有することにより、各主体の実践活動や官民及び各主体間の連携・協働を促進する。

(3)表彰制度の創設・普及啓発の促進

- ・全県的な取組に普及・定着させるため、啓発方針や具体的な方策等を共有し、これらを各主体が協力・実施していく契機とする。

3. 組織構成

(1)団体

- ・全県的な普及啓発及び多様な主体の実践活動を促進する観点から、関係する業界等の全県組織等
(28団体)

(2)企業等

- ・県内で環境(脱炭素)分野で、行政とも連携しながら、積極的に活動している企業
- ・県内の水素モビリティに寄与している企業
(計32社)

(3)国

- ・国の6機関(環境省、経産省、国交省(整備局・運輸局)、財務省、林野庁)における近畿管内の地方事務所

(4)全39市町村

(5)県議会議員(4名)

(6)有識者(6名)

(7)県(3名) **計118者**

4. 総会 開催概要

日 時：令和8年8月25日(火)14:00～15:30(終了予定)

場 所：奈良県コンベンションセンター コンベンションホールA

主な内容：①開会

②基調講演

トヨタ自動車株式会社 水素ファクトリー Chief Project Leader 濱村 芳彦氏

③意見交換

④事務連絡

⑤閉会